

# Épisode Quatrième

エピソード・キャトリエム

津田衣利子 サクソフォンコンサート

ERIKO Tsuda Saxophone Concert

私は、彼女の音楽家としての才能と心惹かれる人柄を高く評価します。彼女は、ユーモア溢れるとても感受性の高い生徒で、解釈、演出に個性を引き出すことができます。今後、彼女の素敵なキャリアと素敵な音楽の時間を願っており、そうして何よりも、このフランス滞在で学んだ事を将来の教え子に伝えるように願っています。

ヤン・ルマリエ パリ14区音楽院教授

J'ai pu apprécier ses qualités de musicienne et sa personnalité très attachante. C'était une élève très sensible qui avait beaucoup d'humour ce qui lui permettait de donner du caractère à son interprétation. Je lui souhaite maintenant une belle carrière et de beaux moments musicaux et surtout transmettre à ses futurs élèves ce qu'elle a appris pendant son séjour en France.

Yann Lemarié

彼女は、とても響きの美しい音と本物の芸術的な才能を持っています。

今後、彼女のコンサート、活躍が素晴らしいものになるように願っています。

ファブリス・モレッティ

パリ10区音楽院教授 大阪音楽大学客員教授

Elle a une très belle sonorité et possède de réelles qualités artistiques.

Je lui souhaite le meilleur pour ses concerts venir.

Fabrice MORETTI

2019年 **11月15日** 金曜日

18:30 開場 19:00 開演

イーグレひめじ アートホール 地下1F

一般¥2,000 学生¥1,000 当日¥500増

Piano 沖永沙織 SAORI Okinaga

後援 大阪音楽大学同窓会《幸楽会》  
姫路市、《公財》姫路市文化国際交流財団

お問い合わせ erikotsuda2@gmail.com (津田)



# エピソード、挿話ある人物や物事についての興味深い話。心理学用語。

私たちの中にある、相互に関連する二つの記憶。エピソード記憶と意味記憶。エピソード記憶は記憶の中でも一番高度な働きをもち、特に覚えておこうと意識しなくても、一度の体験だけでそれを記憶し、忘れにくい特徴がある。エピソード記憶には、人生の個人的な体験、時間や場所、その時の感情が含まれ、感情は記憶の質に影響する。ほとんどの人が3、4歳までの体験を憶えていないのは、エピソード記憶が生まれた時から備わった能力ではなく、後から、獲得された能力だからだとされている。一方、意味記憶は繰り返し同じ物事を記憶することが影響する。事実と概念に関する記憶。生まれて最初の母国語、学校で学んで得た知識、教科書。覚えようとして覚えた知識。エピソード記憶は意味記憶に存在する地図のようなものと考えることができる。

二つの記憶と音楽の融合による相乗効果。パリ生まれ、アメリカ系フランス人、女性現代作曲家ベティ・ジョラス氏作曲“ÉPISODE QUATRIÈME・エピソードキャトリエム”をコンサートのテーマに取り上げ、4番目の挿話、日本語訳の通りコンサートのプログラム4番目に。前後には作曲家と楽曲の優しいエピソードを集めました。

サクソフォン 津田 衣利子

## Program プログラム

パントマイム / フィリップ・スパーク Pantomime / Philip Sparke

ソナチネ / クロード・パスカル Sonatine / Claude Pascal

プレリュード、カデンツァとフィナーレ / アルフレッド・デザンクロ Prélude, Cadence et Finale / Alfred Desenclos

エピソード・キャトリエム / ベティ・ジョラス Épisode Quatrième / Betsy Jolas

コル・ニドライ op.47 / マックス・ブルッフ Kol Nidrei op.47 / Max Bruch

## Profile プロフィール

### 津田 衣利子 ERIKO Tsuda /サクソフォン Saxophone

兵庫県姫路市出身。大阪音楽大学短期大学部管楽器専攻サクソフォン科を卒業後、渡仏。パリ7区エリック・サティ音楽院を経て、パリ地方国立音楽院（パリ10区ルイ・エクトル・ベルリオーズ音楽院）サクソフォン専門課程を最優秀の成績を授与され、フランス国家資格である音楽研究資格（DEM）、ディプロマを取得し卒業。パリ、フランスにて、クラシカルサクソフォンの伝統的な学派を学ぶ。

2016年度、フランス、パリジャン・サクソフォンコンクールにて、審査員及びコンクール課題曲提供者、イタリア作曲家アルマンド・ギドニー氏に称賛を受け、作曲者賞を受賞。

第92回、フランス、レオポルド・ベラン国際コンクール管楽器部門、ファイナリスト。

2015-2017年、パリ大学、ソルボンヌ大学オーケストラ、2016年、ラジオフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団主催オーケストラに所属し、ソルボンヌ円形劇場跡、アンヴァリット・サン・ルイ大聖堂、メゾン・ド・ラジオ・フランスにて、演奏。パリ10区ルイ・エクトル・ベルリオーズ音楽院オーケストラとフランス作曲家ダリウス・ミヨー作曲、Scaramoucheを共演。パリ市、パリ区立音楽院を中心に多数の演奏活動、企画に参加し研鑽を積む。

声楽をフランス、ブルターニュ地方出身の声楽家、クラウディーヌ・ル・コズ氏に学ぶ。サクソフォンを井上麻子、ヤン・ルマリエ、ファブリス・モレッティ、室内楽をヤン・ルマリエ、千春・ルマリエ（井上）、ファブリス・モレッティ、オーケストラ管弦楽法をファブリス・モレッティ、各氏に師事。



### 沖永 沙織 SAORI Okinaga /ピアノ Piano

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。卒業時、優秀賞受賞。

第14回堺ピアノコンクール金賞受賞、第9回ヤングピアニストコンクール金賞受賞。第19回長江杯国際コンクールならびに第22回KOSMA ソロ管楽器コンクールにおいて、伴奏者として表彰を受ける。

現在、相愛大学音楽学部管弦打楽器伴奏ピアニスト、国際コンクールの公式伴奏者等、アンサンブルを中心に活動している。

渡邊ちひろ、伊藤恭子、吉田順子の各氏に師事。京都音楽家クラブ会員。

